

1. ヒューマンファクターとヒューマンエラーについて

日 時： 2012 年 6 月 20 日

発表者： 内田 勝也

内 容： JR 西 安全研究所が作成した「事例でわかるヒューマンファクター」を中心に、解説を行った。 情報セキュリティ分野でも同じような問題も多々あり、参考になる部分が多い。

2. ソーシャルエンジニアリング ～ 歴史的観点から ～

日 時： 2012 年 7 月 19 日

発表者： 内田 勝也

内 容： 日本では情報セキュリティ対策は、技術的な対応が中心だと考えているが、多くの場合、人間の弱さを攻撃する ソーシャルエンジニアリング と呼ばれるものがあり、1980 年代中頃から、それを使って事例は発生している。過去の事例を中心に、どの様な方法が使われたかについて説明を行う。

3. ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) 再考

日 時： 2012 年 8 月 29 日

発表者： 内田 勝也

内 容： 最近発生した某クラウド型 ISP では、ISMS 認証取得を行っていましたが、大規模なシステムダウンだけでなく、バックアップがミラーリングであったため、データの回復が不可能であった。 また、復旧時点で、他社データを混在した形での復旧を行ったため、情報漏えいなどの問題が発生した。

ISMS 認証制度発足時から 審査機関の 1 つで審査判定委員会委員長として審査内容の確認や審査機関協議会での基調講演、ISMS 認証事業所調査 (国内唯一の調査) 経験から、ISMS 認証制度等の検証やマネジメント的な立場からの考察を行った。

4. 情報セキュリティー心理戦前線 ～米投資銀行システム監査現場外伝～ 及び、

ソーシャルエンジニアリングの実際 (実際に行われたものの録音を使って)

日 時： 2012 年 9 月 26 日

発表者： 木村 昌弘 / 内田 勝也

内 容： 米国投資銀行でのシステム監査現場での内容や「質問方法：オープン質問とクローズ質問」の使い方等

1994 年に実際に行われたソーシャルエンジニアリングの録音テープの内容全てを聞くことで、ソーシャルエンジニアの心理学的知見を利用した技術を聞くもの。

5. 物理的セキュリティと心理学・犯罪心理学等について

日 時： 2012 年 10 月 24 日

発表者： 内田 勝也

内 容： テーマは、「物理的セキュリティと心理学・犯罪心理学等について」で、あまりなじみがないかも知れませんが、情報セキュリティを考える上で、大事な課題です。

この様な考え方で対応は、1980 年代の後半に発生した大きな情報セキュリティ事件でも対応があった。 当時はマニュアルでの対応だったが、最近では 包括的な形で対応する製品も発売されている。

情報セキュリティを考える上でも意外な盲点になっている部分だと考えている。

6. 再考、歴史から学ぶ ～ I prefer to learn from the experience of others ～

日 時： 2012 年 11 月 28 日

発表者： 内田 勝也

内 容： I prefer to learn from the experience of others (賢者は歴史から学ぶ) との言葉があります。 一方、「浜の真砂は尽きるとも世に盗人の種は尽きまじ」との言葉もあります。 リアルの世界でも、バーチャルの世界でも、犯罪行為やそれに類するものがなくなる様子はありませんが、従来になかったものは少ないように感じている。

情報セキュリティ分野の十数年前の内容を見ながら、過去と現在を比べてみることで解決できる可能性があると思われる。

7. 本当は怖い” ソーシャル・エンジニアリング” ～ 書籍編集者からの視点

日 時： 2012 年 12 月 17 日

発表者： 内田 勝也

内 容： 国内でも、ソーシャルエンジニアリング攻撃が本格的になってきた。 従来、海外の被害や報告が中心だったが、最近の「遠隔操作ウイルス (トロイの木馬)」も、2チャンネルに嘘 (騙し) のメッセージにより、不正プログラムがダウンロードされた。また、昨年 (2011 年) 発生したソニーの情報漏えいでもソーシャルエンジニアリングが使われていた。

更に、中央官庁や防衛産業を中心とした標的型メールも、ソーシャルエンジニアリングの1つと考えることができる。

ソーシャルエンジニアリングに多くの方々が関心を持ち、情報セキュリティ対策は、技術より、人間を中心とした対策が最も重要であるとの周知をしたいと考えていたが、今回、日経 BP 社から、クリストファー・ハドナジー著「ソーシャル・エンジニアリング」が翻訳された。この書籍出版に携わった日経 BP 社の鈴木さんに、お話を頂く。

8. Social Engineering Penetration Tester 参加報告 ～ 参加して感じたこと等 ～

日 時： 2013年1月17日

発表者： 内田 勝也

内 容： 12月は、Chris Hadnagy 著「ソーシャル・エンジニアリング」(日経 BP 社)について、編集者の立場からお話を伺った。鈴木亨氏(日経 BP 社)のプレゼンでは、書籍を読む前には、「ソーシャルエンジニアリングなんてたいしたことがない」だったが、読後は「自分が標的になって、ソーシャルエンジニアリング攻撃を仕掛けられたら、とても対抗できない」でした。

Chris が主催する「Social Engineering Penetration Tester」に11月中旬に参加した。9名の参加であったが、参加者の少なさが結果的に内容の濃いトレーニングになった感じを受けた。トレーニング内容、参加して感じたこと等の報告を行う。

9. ショルダーハッキングはどこまで可能か？

日 時： 2013年2月21日

発表者： 内田 勝也

内 容： ソーシャルエンジニアリングの世界では、「ショルダーハッキング」ができると言われているが、実際にどの程度可能かの実験例はあまり聞かない。実際にどの程度可能かについて、実際にキー入力を行っているビデオで参加の方々に実験を行いたい。

また、実際にどの様な環境だと、ソーシャルエンジニアリングが可能かをビデオの見せ方で判断をしたいと考えている。

10. 情報セキュリティ心理学における心理学的知見の考察

日 時： 2013年3月29日

発表者： 内田 勝也

内 容： 今年度(H24年度：2012年)の最後の研究会になりが、今まで、情報セキュリティ心理学として色々な内容の発表を行ってきたが、今回は情報セキュリティ心理学分野における心理学関連項目を整理した形での発表を考えている。

但し、まだ、完全な形で整理できていないため、発表について質問、コメント、反論等を含めて、参加者の方々との議論を考えている。また、これが今後のセキュリティ心理学研究を行う上で参考になれば良いと思っている。